

News Letter

ニュースレター

2023.12 vol.125



奏楽堂

特集◎ 鶴舞公園リニューアル

Park-PFIを活用した公民連携による再整備

調査研究

広域の人口移動から見た名古屋市・愛知県の現状と課題

まちづくり支援

わたしのまちの“いきばしょ”

まちづくり来ぶらり

名古屋扇子

鶴舞公園リニューアル

Park-PFIを活用した公民連携による再整備



公園内3つのエリアをリニューアル。誰もが使いやすいように、園路の改修やトイレ、休憩所を整備。もともとの樹木や景観が活かされています。



【正面南エリア】多彩な飲食店やトイレを整備。図書館へのアクセスも便利になりました。



【秋の池エリア】池を眺めながら憩える空間に。



【熊沢山エリア】散策にぴったりの明るい雰囲気のある丘に。

名古屋市初の公園

名古屋を代表する公園・鶴舞公園は、1909（明治42）年に名古屋市が初めて設置した第1号の公園で、今年で開園114年という歴史ある公園です。

開園のきっかけは、1910（明治43）年に開催された第10回関西府県連合

共進会（博覧会）の会場をつくるためでした。当時、田んぼだった敷地の埋め立てには、新堀川開削工事で発生した土砂が利用され、共進会終了後に公園として本格的に整備されました。

鶴舞公園のシンボリックな存在である噴水塔と奏楽堂は、それぞれ1977（昭和52）年、1997（平成9）年に復元されていますが、当時の姿を今に残す貴重な建造物です。その他にも普選記念壇や鶴々亭など歴史的建造物が点在しており、2009（平成21）年には公園のほぼ全域が国の登録記念物（名勝地関係）に登録されました。

明治時代に設計された近代フランス式の洋風庭園と廻遊式の伝統的日本庭園とを合わせもつ和洋折衷の大

公園は、今では花の名所として、また、緑豊かな憩いの場、スポーツ・レクリエーションの場として多くの市民に親しまれています。

再整備に向けて

「鶴舞公園は歴史ある公園である一方、施設の老朽化やバリアフリー化ができていない、飲食店が市民のニーズに対応していないなどの課題がありました」と話すのは、名古屋市緑政土木局緑地部緑地利活用課の花井係長。鶴舞公園管理運営方針（パークマネジメントプラン）『鶴舞公園のめざす公園像：歴史と品格を軸に、これからも名古屋の誇りとしてあり続ける公園』に沿う形で再整備計画を進めることとな



名古屋市提供

開園当時の鶴舞公園（噴水塔）



国の登録記念物である鶴舞公園の姿を後世に残すため、飲食店などの収益は歴史・文化的施設の保全にも使われます。
(写真左／噴水塔、写真右／普選記念壇)



り、課題解決に向けて、民間事業者と連携して再整備を進めることのできるPark-PFIの活用が決まりました。

民間・行政・地域住民 三者の連携

Park-PFIとは、都市公園の中に民間事業者による収益施設の設置を許可し、その収益の一部を公園施設の整備・改修等に還元するという制度で、民間事業者は公募により選定されます。名古屋市ではこれまでに久屋大通公園と徳川園でPark-PFIを導入して改修・再整備をした実績があります。

鶴舞公園の場合は、名古屋を代表する公園であると同時に地域密着の憩いの場であること、歴史的建造物が多く点在し国の登録記念物にも指定されている歴史ある公園であることから、既存の景観や情緒、公園施設を活かした事業提案であることが重視されました。

事業者選定後も幾度となく協議・調整を重ねたと花井係長は話します。「文化財の有識者に意見を伺いながら慎重に計画を詰めていきました。特に鶴舞公園の景観に溶け込むような建物デザインや既存の樹木との調和など、設計協議に時間を要しました」。

また、工事の着工にあたっては、事前の計画説明や防犯上の配慮等をその都度、地域の方々に説明し協議を重ねて進めたと言います。そんな中で、地域の方からも要望があり、長年親しまれてきた樹木を残すように設計を変更するという事もありました。

まさに民間・行政・地域住民の三者が連携して、市民に愛される鶴舞公園のリニューアルが実現されました。

リニューアルから半年 さらなる魅力向上をめざして

2023(令和5)年5月にリニューアルオープンを迎えてから約半年が経ちました。名古屋市の第1号公園としての

歴史と風格は残しつつも、きれいなトイレや休憩所が整備され、園路やスロープはバリアフリー化に対応、誰もが過ごしやすい公園として多くの利用者で賑わっています。また、話題の飲食店の導入やイベントの開催により、若者世代の利用者も増えています。

今回のPark-PFIによる事業期間は最大20年。長期安定した公園経営を維持するとともに多くの市民に愛され、誇りとなり続けられるようさらなる魅力向上をめざします。



正面南エリア建物部分の土留めには、市電の軌道敷石が再利用されています。



貴重な郷土資料のデジタルアーカイブ「なごやコレクション」



100周年記念限定パッケージ(左上)と
出典元の「絵本江崎の春」(高力種信(猿猴庵)／著)

名古屋市鶴舞中央図書館の前身となる市立名古屋図書館は、1923(大正12)年10月1日に鶴舞公園の一角に開館し、今年で100周年。そんな歴史ある鶴舞中央図書館にはこれまでに収集した貴重な資料が数多く保管されており、そのうち約2,800点がデジタルアーカイブ「なごやコレクション」としてWEB上で公開されています。

誰でも自由に閲覧することができ、サイトから申請をすれば、デジタルデータを加工して個人使用、商用利用問わず活用することができます。その一例として、名古屋市図書館と山田餅がコラボして、「100周年記念限定パッケージどらやき」を制作しました。

「歴史や古書に詳しくない人にも気軽に親しんでほしい」と、鶴舞中央図書館司書の石谷さんはデジタル資料の活用を推進しています。



広域の人口移動から見た名古屋市・愛知県の現状と課題

人口は都市活動の源であり、日本が人口減少社会に入中、その重要性は増えています。また、都市の盛衰によって人口は増減するので、人口は都市の活力を示す指標という面も持ち合わせています。

2022年にはコロナ禍も収まり、再び東京一極集中の動きが活発になりつつあります。そこで広域的な人口移動のデータから、都市の活力、人を引き付ける力という点でのこの地域の現状と課題について分析しました。その結果の一部をご紹介します。

人口移動の状況

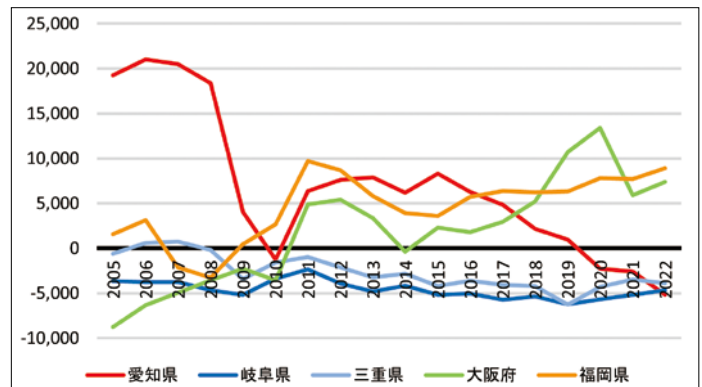
名古屋市の転出入の状況は

2022年は4,096人の転入超過（日本人のみ、国内移動のみの集計。以下転出超過も同様）。20ある政令指定都市の中で6位ですが、大阪市の3分の1強、福岡市・札幌市の半分以下しかありません。

愛知県の転出入の状況は

2022年は5,173人の転出超過（右グラフではマイナスで表示）。47都道府県の中でワースト6位、落ち込みに歯止めがかからない状況です。

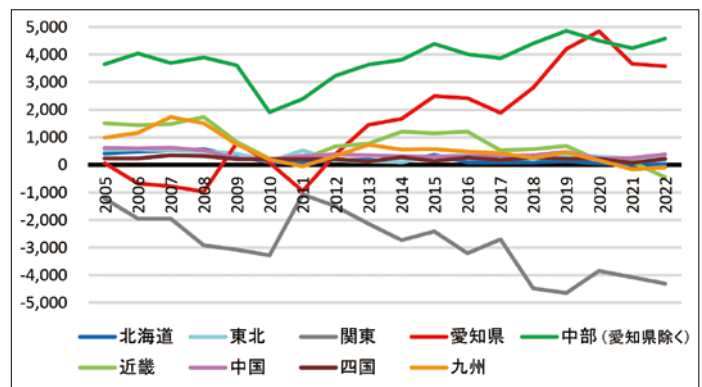
岐阜県はワースト8位、三重県はワースト12位で、東海地方は今や「選ばれない地域」になっています。



愛知県などの転入超過数の推移

名古屋市の転入転出をエリア別に見ると

関東への転出超過が拡大する一方、愛知県・中部からの転入超過が増え、全体としては転入超過を維持していますが、これまで転入超過を確保してきた近畿や九州との間が転出超過に転落するなど、近隣からしか人を集められない「お山の大将」になってきています。



名古屋市のエリア別転入超過数の推移

分析結果

名古屋市でも若い女性が東京へ多く流出しているのか

大学卒業時に当たる20代前半では東京都への転出超過は女性のほうが多いのですが、20代後半では男性のほうが多く、20代全体では東京都への転出超過数は男女ほぼ同じです。また、20代前半の東京都への転出超過数は主な政令指定都市の中では低く抑えられています。一方、全国的にも珍しいのですが、20代後半が男女とも東京都への転出超過が最も多い年齢層で、職場の戦力になってきた20代後半の東京への転出超過が男女とも多いことが問題と考えます。

名古屋市・愛知県は「製造業の企業が多いから若い女性が大学卒業時に東京へ多く転出する」とよく言われるが

製造業で働く人の割合が低く、人口も名古屋市より少ない札幌市、仙台市、福岡市のほうが、20代前半の女性の東京都への転出超過数が名古屋市より多いことなどが判明し、言われるような関係は確認できませんでした。



調査研究内容の詳細は、都市センターのHPで公開しております。ぜひご覧ください。





中村区 大門横丁

みんなで 駄菓子屋(仮)

あいざわ けいこさん

子どもたちは どうしているんだろう..

コロナで横丁の餅つきや菓子まきが中止になって「子どもたちはどうしているんだろう..」と思うように。“どっかに遊びに行く”じゃなくて、なにか理由があれば外に出てもいいんじゃない?“お菓子を買に行く”とか。そこにたまたま友だちがいればいいよね、と思っていたら自然に「駄菓子屋」にたどり着きました。

お店を始めたことで、今まで知る機会のなかった子どもたちの名前も覚えたり、どんなことが好きなのかもわかってきた。ココで子どもと大人が触れ合っ、なにかが起るといいなと思います。

それはきっと、この子どもたちの役に立つから。



あいざわさんは、やさしくて愛情いっぱい。いてくれないとダメ~

きのうココに来た大人の人が“ドボクギシ?”なんか、将来の仕事、それもいいなあ~

いきばしよづくりを考えている方へ

目的が、地域の子どもたちを守る・交流するためならお店じゃなくてもいいかもしれません。駄菓子屋はあった方がいいかもしれないですが、なくてもいい。お店がある方がいいと思ったら、子どもたちと一緒に作るのもいいかも。

何かやりたいと思っているなら早めにやったほうがいいと思います。問題はやってみてから出てくるものなので。

問題が出てきたら、子どもたちに助け合いや思いやりのことを話し、「自分だったらどう思う?」と聴いて、一緒に解決していけばいい。そうすれば、大人になってもそういうことを考えることができるようになるんじゃないのかな? いろんなことがうまいことめぐりめぐってつながっていくんじゃないかな~って最近思ってます。

高学年になると忙しくなって来られなくなってしまうかもしれないけど、いつかまた来てくれるかもしれないから、すごく楽しみ!

子どもも大人も、あいざわさんと話したくてお店に来ているようでした。懐かしさと優しさがあふれる空間です。

「住みやすく、楽しいまち」になるよう、まちづくり活動に取り組む人「まちづくりびと」を育てる講座を毎年行っています。今年も「わたしにもできる! いきばしよづくり講座」でした。↓



講座内容

わたしの“いきばしよ”

まちの中の
“いきばしよ”
をご紹介します。

南区 呼続

子育て支援団体 ハピサンハウス

大矢 康子さん

子育てって、 ひとりじゃできないな..

遠方より引っ越してきて出産。知り合いがいない中での子育ては「ひとりじゃできないな..」と思い、子育て支援センターへ友達を探しに行きました。いろいろな人に助けをもらい、つながりができ、自分の好きなことでなにかしたい! と思い、ママ友と演奏活動で子育て支援のようなことを始めました。

地域活動に参加するようになった頃、近所のカフェ「街と珈琲」のマスター服部さんと出逢い、まちづくりに対する情熱やアイデアを聴きました。「子育て支援ってこれでいいのかな?」との問いに「自分でやってみたらいいんじゃないの?」というマスターのあと押しがあり、団体を立ち上げました。

「だがしやさん」は、街と珈琲の店先でやっていて、子どもスタッフを募集しています。はりきってお菓子を並べたり、お金のやりとりをしたり、「駄菓子売ってまーす!」と声出したり。「すごく楽しかった!」と言ってくれるので「こんなんでいいんだ!」と思いました。今は月1回しかできてなくて、来る子がなかなか定着しないのが課題なんですけど、毎回手伝ってくれる子もいます。子どもがお手伝い中、お母さんがカフェでお茶を飲んでいたり、通りすがりのおじさんがお菓子を箱買いしたり。「ココ何屋さん?」と聞いてきた方にカフェの案内をしたり。ここにいると出逢いはいろいろあります。



街と珈琲のマスター
服部さん



小箱を借りた人が様々な物を販売。店内が小さな商店街のようなカフェです。大矢さんは2階で子育て支援活動をしています。



いきばしよづくりを考えている方へ

やればできると思います。やってみるのが大事ですよ。ひとつひとつは難しいことじゃないし勉強になることも多い。自分にできるかな? と考えると動き出せないけど、やると決めたらみんなたくさん協力してくれます。

「私なんか何もできない..」と言う人がいますが、別にすごいことしなくていいし、いてくれるだけでいいと思います。

特技がなくても全然いい、そのままでもいいと思います。好きなことをみつけてそれをやっていくのもいいと思いますが、両方いい! と言いたいです。

不登校の会、コソダテひろば、音楽ステージ..さらに空き家を見つけ何をするか妄想会議中。呼続は、すんなり溶け込める、居心地のいい街です。

まちづくりライブラリー
 全国に誇るまちづくりの専門図書館です。名古屋市の戦災復興に関する資料や都市計画関連図をはじめ、都市計画概要などの行政資料や研究機関の調査研究報告書なども収集しています。



名古屋扇子



職人技

名古屋扇子

名古屋は京都と並んで扇子の二大産地であることをご存知でしょうか。

ひと口に扇子といっても多種多様なものがあり、夏に使う夏扇、踊りに使う舞扇、結婚式などに使う祝儀扇、床の間におく飾扇、茶席で使われる茶扇、模様などのない白地のままの白扇などがあります。

名古屋扇子は、名古屋市内で生産されている伝統的な扇子で、愛知県の郷土伝統工芸品に指定されています。京扇子が高級な婦人物や舞扇を主としているのに対し、名古屋扇子は白扇など実用的な男物、祝儀扇を主体とし、絵柄には縁起物の動植物や神獣、風景などが美しく描かれた魅力あふれるものです。

名古屋扇子の起源は遠く江戸時代に遡ります。尾張徳川家9～10代の御代、宝暦年間(1751～1764)に京都から現在の西区幅下あたりに移住してきた井上勘造父子によって始められたとされています。尾張藩の城下町として、ものづくりの盛んな土地柄のなか独自の芸術性と高い技術をはぐくみなが

ら発展してきました。

大正からは、中元進物の品として広く利用され、昭和初期までアメリカやドイツなどへの輸出も盛んに行われました。

生活スタイルの変化から、扇子は日常生活に密接したものではなくなりました。しかし手にした人はその良さの虜になるといいます。200年以上続く伝統技術が継承され、この先も多くの人に愛され続けることを願ってやみません。

さらに詳しく知りたい方は、こちら

◆参考文献◆

『あいちの地場産業』(Se-0)

『名古屋城下調べ帳』(2B40-2013)

『大正昭和名古屋史 第二巻』(Sc-ナ)

※()内はまちづくりライブラリーの請求記号です。

図書紹介

『調べ物に役立つ図書館のデータベース』

著者：小曾川真貴 著
 出版社：勉誠社
 請求記号：pa-コ

データベースを使ったことがありますか？まずは「求める情報の調べ方」を探す方法から始め、身近なデータベースを中心に図書館で使える便利なツールとその使用方法を紹介しています。OPAC(オンライン蔵書目録)やキーワードを使った検索方法についても解説。Webで使える無料のデータベースも紹介しているデータベースの使い方の入門的な本です。



『カラー版 妙な線路大研究 東海道・山陽・九州新幹線篇』

著者：竹内正浩 著
 出版社：実業之日本社
 請求記号：Hb-タ

「なぜ大きく迂回して名古屋駅に入るのか?」「愛知県内の新駅候補が4案あったってホント?」などの理由に迫るシリーズ第3弾の東海道・山陽・九州新幹線篇。妙な線路に生じた原因や理由を深掘りしています。そこには地形の制約や時間短縮目的だけではない様々な要因が重なりあっていたと解説しています。



『著作権って何?現代人なら知っておきたい最低限の著作権ルール』

著者：稲葉茂勝・渡邊優 著
 出版社：あすなる書房
 請求記号：Re-イ

「著作権」とは、「法律によって著作者に与えられる権利」のことです。しかし分かっているようで分からないことも多い。現代人なら知っておかなければならない最低限の著作権ルールをQ&A形式で具体的に解説し、また注意事項や関連法律の説明もしています。おとも学べる絵本です。



1

企画展 「まちづくり広場・東海 2023」開催します

日本建築学会東海支部都市計画委員会と名古屋都市センターが共同で開催する本企画。

主たるテーマとして、「地域主体のまちづくり」を設定し、様々な地域主体の取組みを知り、学び合う場となることを目指し、まちづくり活動団体や行政等によるまちづくりに関わる仕組みや活動事例を紹介するパネル展示等を行います。

また、本年度は空き家法の2023年改正を踏まえ、空き家活用やエリアリノベーションに関する展示も行います。

場 所：名古屋都市センター11階 まちづくり広場

展示期間：2024年1月10日（水）～28日（日）

10:00～18:00

（月曜休館、土日祝は17:00閉館）

主 催：一般社団法人 日本建築学会東海支部都市計画委員会

共 催：公益財団法人

名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター

まちづくり講演会

関連イベント

1月21日（日）

13:00～16:20（名古屋都市センター11階ホール）

参加無料・要予約

改正空き家法のポイントをおさえた上で、多様なタイプの空き家活用によるエリアリノベーションを実践者から紹介していただき、改正法を活用した今後の取り組みに向けて会場の皆さんとともに議論します。



詳細は右記二次元コードからご確認ください。

※お問合せは、日本建築学会東海支部都市計画委員会へお願いします。

2

第2回まちづくりスキルアップ講座 「まちを調べて、まちを知る」

まちの歴史、まちづくりの資料や情報が、名古屋都市センターには、たくさんあります。

まちづくりライブラリーやまちづくり情報システム（ISM）の活用のしかた、調べ方のコツや面白さをお伝えします。

日 時：2024年3月3日（日）13:00～16:45

場 所：名古屋都市センター11階ホール

主 催：公益財団法人

名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター

参加無料・要申し込み

詳細は、ホームページ、

下記Facebook・Instagram（まちづくり支援）でお知らせします。



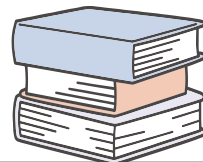
3

まちづくりライブラリー 特別整理期間による休館日のお知らせ

休館日 2024年1月31日（水）～2月9日（金）

特別整理期間として蔵書点検を実施いたします。

休館中のご返却は、返却用ブックポストをご利用ください。



取扱時間 7:30～21:00

4

SNSアカウント一覧

名古屋都市センターでは、各種SNSアカウント（Facebook・Instagram・X（旧 Twitter））で、名古屋やまちづくりに関する様々な情報を発信しています！ぜひ、各アカウントをチェックしてみてください！



【名古屋都市センター】

様々なイベントの開催案内、事業の紹介、出版物のお知らせなど、多岐にわたる情報を発信。



【歴まちくんとおとも】

歴まちネット公式キャラクター「歴まちくん」が歴史の魅力を発信。時々、ちょっと気になったモノも紹介します。



【名古屋都市センター
まちづくり広場】

まちづくり広場の見どころや企画展の紹介、広場からの眺めやライブラリーの案内、名古屋市内の街なみなど幅広く発信。



【名古屋都市センター
まちづくり支援】

名古屋のまちづくり活動の様々な情報を発信。



【歴まちくんとおとも】

歴まちネット公式キャラクター「歴まちくん」が歴史の魅力を発信。時々、ちょっと気になったモノも紹介。



【名古屋都市センター
まちづくり広場】

名古屋の街並み、建造物、イベント情報、歳時記などを発信。



令和5年度に実施した事業の一部をご紹介します。

歴史 まちづくり



歴史まちくんとおとも



講師の青木公彦氏



連続講座の様子

歴史まちづくり連続講座

名古屋都市センターは、戦後の復興土地区画整理事業の収束を記念して、その成果を後世に継承するとともに、21世紀の新しい名古屋のまちづくりに寄与する拠点として、まちづくりに関する調査・研究、情報収集・提供、人材の育成を3本の柱に事業を行っています。

その一環として歴史まちづくり連続講座を開催しています。

今回は10月21日（土）に第2回「戦前の公園緑地の歴史と昭和初年の大須」と題し開催しました。

当日は約30名の参加を頂き、講師もお伝えしたいことが多く、予定時間を超えて講義がされました。

その内容を少し紹介しますと、公園の歴史は明治6年（1873年）の太政官布達が始まりで、対象地は社寺境内地

や旧城郭などとし、定義はみんなが楽しむ場所とされ、名古屋では明治11年（1878年）3月に大須の清寿院の跡地に「浪越公園」ができたのが始まりとのことでした。

※「浪越公園」（現那古野山古墳公園）は今も大須演芸場の東に小高い丘（古墳）の上に大樹がそびえる姿で整備されています。

その後、市町村が公園を設置できるようになり、明治42年には名古屋市設置の初めての公園である「鶴舞公園」が整備され、大正15年には24か所の都市計画公園が決定され、太平洋戦争直前には防空を目的とする5か所の都市計画緑地が決定されたといった、名古屋の公園緑地がどのように計画されてきたのかというものでした。

どうしても専門用語が使われるため、

なじみのない人には少し難解な部分もあったかもしれません。

講座の後半は、昭和初年の大須を、叡智英夫氏筆「路地から見た大須の顔」の文章をなぞりながら、当時の様子や今の姿を写真などにより紹介がされました。

今は無くなってしまった七つ寺の三重塔の姿や、補修の跡も痛々しく野天で鎮座する大日如来像が、昭和初期にも同じような状態であったことなど、興味深い内容ではなかったかと思います。

都市センターでは、今後も歴史まちづくり連続講座を開催していく予定です。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。



公益財団法人 名古屋まちづくり公社



名古屋都市センター
Nagoya Urban Institute

〒460-0023

名古屋市中区金山町一丁目1番1号 金山南ビル

TEL 052-678-2208

FAX 052-678-2209

<http://www.nup.or.jp/nui/>

ISSN:1341-6820



この印刷物は再生紙を使用しています。

利用案内◎どなたでもご利用いただけます。

【11階】まちづくり広場
（展示スペース・ホール・喫茶コーナー）

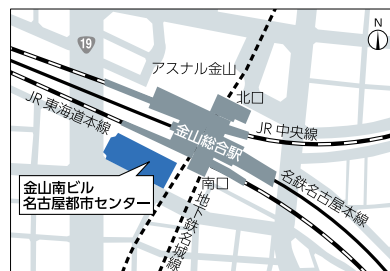
【12階】まちづくりライブラリー

火～金曜日：10:00～18:00

土・日曜日・祝休日：10:00～17:00

※休館日：月曜日（祝休日の場合はその翌日）、
年末年始

まちづくりライブラリーは、
上記のほか第4木曜日、特別整理期間も休館



SNS
やっています！

